

病態制御医学講座／内科学(3)領域

附属病院／第三内科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	石塚 全	平成24年12月－
准教授	此下 忠志	平成12年6月－
講師	飴嶋 慎吾	昭和60年6月－昭和60年9月 昭和61年5月－昭和62年3月 平成6年1月－
講師	鈴木 仁弥	平成2年6月－平成2年10月 平成9年6月－（平成26年1月－現職）
助教	梅田 幸寛	平成12年4月－平成13年4月 平成16年10月－（平成21年4月－現職）
助教	森川 美羽	平成17年10月－（平成24年4月－現職）
助教	安齋 正樹	平成10年4月－平成11年2月 平成14年4月－平成14年9月 平成21年4月－（平成26年1月－現職）
特命助教	銭丸 康夫	平成15年7月－平成17年9月 平成23年8月－（平成26年6月－現職）

2. 研究概要

呼吸器グループ

● 研究概要

1. FDG-PET の呼吸器疾患診断への臨床応用

活性化した炎症細胞では、GLUT 発現の亢進や Hexokinase の活性化が報告されており、悪性腫瘍以外の炎症性疾患にも集積が見られる。当科では高エネルギー医学研究センターと共同し肺癌のみならず様々な炎症性肺疾患のデータの集積を継続している。

2. 新しいトレーサーを用いた PET による肺癌診断への応用

腫瘍診断において一般的に用いられている FDG に加え、いくつかの新しいトレーサーを用いた検査法の開発を高エネ研と共同で行っている。一つは、低酸素のマーカーとされる ^{62}Cu -ATSM を用いた PET 画像で、腫瘍内の虚血の程度やその分布のパターンによって組織型を分類したり、治療効果判定に応用することを検証している。二つ目は、チミジンのアナログであり細胞増殖のマーカーとなりうる ^{18}F -FLT を用いた PET 画像の検討を継続中である。

3. MRI の呼吸器疾患診療への臨床応用

胸部病変の診断に対する MRI の有用性は、近年、拡散強調画像や STIR 像などの撮像シークエンスの改良によりその有用性は高まっている。当グループでも MRI を肺癌診療に取り入れ、臨床的研究を継続している。また、肺野病変に対する MRI の有用性についての基礎的研究も行っている。

4. 仮想気管支鏡と極細径気管支鏡およびガイドシース気管支腔内超音波断層法の有用性の検討

当院では仮想気管支鏡 (Virtual Bronchoscopic Navigation) システム、極細径気管支鏡、ガイドシース気管支腔内超音波断層法 (EBUS-GS) システム、超音波気管支鏡ガイド下針生検システム (EBUS-TBNA)、等を導入し、それら新しいデバイスの有用性を検討している。

5. 細胞外酸性の慢性気道炎症、気管支喘息の病態へ及ぼす影響に関する研究

ヒト気道上皮細胞およびヒト気管支平滑筋細胞に発現し、細胞外酸性を感知する受容体 (プロトン感知性 G タンパク質共役型レセプター) の一つである Ovarian cancer G-protein-coupled receptor 1 (OGR1) の気道炎症における役割について基礎的研究を進めている。

6. 非小細胞肺癌での CYP19A1 遺伝子異常に関する検討 (金沢大学との共同研究)

エストロゲンは肺癌増殖に作用することが知られている。またエストロゲン合成酵素である

CYP19A1 (アロマターゼ) の発現が、NSCLC 腫瘍局所で亢進していることも報告されてきた。今後は CYP19A1 活性化の分子機構を明らかにするために、比較ゲノムハイブリダイゼーション (CGH) や 5' -RACE などの手法を用いて解析していく予定である。

● キーワード

肺がん診断, 間質性肺炎診断, PET, MRI, 仮想気管支, 極細径気管支鏡, 気管支喘息, プロトン, 慢性気道炎症

● 業績年の進捗状況

1. 疾患活動性評価の難しい特発性間質性肺炎の診断・予後評価に 2 時相 FDG-PET が有用であることを Eur J Nucl Med Mol Imaging に報告した。さらに症例を蓄積し、早期像と遅延像での FDG の集積の変化率が長期生命予後に関連することを検証した。この内容を欧州呼吸器学会 (Barcelona 2013) で発表し、現在学術誌に投稿中である。

間質性肺炎の治療早期効果判定への 2 時相 FDG-PET 画像の有用性に関する検討を 2012 年度から開始し現在症例集積中である。

2. これまで我々は当施設の高エネルギー医学研究センターと共同して肺癌における FLT-PET 画像所見と無増悪生存期間と全生存期間の関係を検討し、日本肺癌学会総会 (京都 2014) で報告した。

3. 放射線科、呼吸器外科と合同で、FDG-PET と MRI の肺癌に対する化学療法の効果判定における有用性について検証し、学術誌に掲載された (J Magn Reson Imaging 38:80-88, 2013)。

4. 当院の肺野末梢病変における極細径気管支鏡と仮想気管支鏡との組み合わせによる診断率の検討を全国他 5 つの施設と多施設共同研究し、学術誌に掲載された (Am J Respir Crit Care Med 188:327-333, 2013)。

また、当院での仮想気管支鏡とガイドシース気管支腔内超音波断層法 (EBUS-GS) システムによる小型肺結節の診断能に関わる因子を検討し、FDG 集積の程度と CT 上の関与気管支の有無が重要であることを検証し、報告した (Lung Cancer 85: 47-52, 2014)。さらに、現在前向き研究として肺の良性・悪性の末梢病変に対して気管支鏡診断と PET 所見の解析を行っている。

5. ヒト気道上皮細胞株、およびヒト気管支平滑筋細胞を用いて、細胞外酸性で変動する遺伝子 (mRNA) を網羅的に解析した。現在、酸性環境下で遺伝子発現が増加したいくつかの因子に焦点を絞って研究を進めている。また、2013 年度には OGR1 ノックアウトマウスを用いた喘息モデルの解析結果を PLoS ONE 誌に、酸化ストレスがマスト細胞のロイコトリエン C4 産生を増加させることを示唆する結果を Biochem Biophys Res Commun 誌に発表した。難治性気管支喘息の新規治療法 (白血球除去療法) の安全性と効果に関する論文 (Inflamm Res 63: 789-796, 2014)、気管支喘息患者の自覚症状、合併症と気道炎症の関連に関する論文 (J Asthma Allergy 7: 131-139, 2014) が学術誌に掲載された。

● 特色等

PET 研究をはじめ総合画像診断の分野では当大学が最先端を走っており、呼吸器疾患の分野においても、当大学の高エネルギーセンターとの共同研究のもと、当グループによる研究成果が国内外で評価され、論文発表に繋がってきている。とくに、肺癌診断のみならず、他の肺疾患においても、PET 画像や MRI 画像による質的診断が有用であることが明らかとなり、新しい診断技術の開発に繋がっている。平成 22 年度から、本学高エネルギー医学研究センターと共同で肺癌の診断・治療反応性・予後評価における FLT-PET の有用性に関する検討も開始している。現在、¹⁸F-FLT をトレーサーとして用いることができる施設は限られ、肺癌における報告も世界的に見て限られており、本研究は非常に先駆的な内容である。さらに、本年度には高エネルギー医学研究センターに PET/MRI が導入される予定であり、肺がん診断をはじめとした呼吸器疾患診断への応用研究を検討している。

肺癌治療における組織型診断は、個別化治療の進歩に伴ってより重要となっており、各種気管支鏡による診断率の向上は重要である。当施設はあらゆる気管支鏡診断が可能な器機が揃っている世界的にも数少ない施設であり、方法論確立のための多施設共同研究メンバーとして検討を継続

中である。現在の当院の同システムの充実ぶりは全国でもトップクラスであり、実臨床において必要な肺癌診断に対し、高い診断率を誇っている。

気管支喘息の管理は吸入ステロイド薬を中心とした標準的治療法により飛躍的に改善したが、治療抵抗性の難治性喘息の病態の解明、COPD と喘息の合併患者の治療、管理、新規治療の開発は重要である。

● 本学の理念との関係

- 1) トランスレーショナルリサーチ（基礎的な研究成果の臨床応用）に繋がる研究
- 2) 呼吸器疾患の新たな画像診断技術の創設に寄与している研究と考えられる。

内分泌・代謝グループ

● 研究概要

1. RAS 系コンポーネントの遺伝子発現に関する研究を進展させ“網羅的発現遺伝子解析により抽出された高血圧関連遺伝子 AT 4 / I R A P の役割”について検討。（文部科学省科学研究費補助金 基盤研究）

2. 日本学術振興会二国間交流事業協同研究「子癇前症の早期診断に関連する諸因子に及ぼす HIV 感染の影響」を南アフリカ共和国と実施。（JST プロジェクト）

3. “ゲノム情報を活用した糖尿病の先駆的診断・治療法の開発研究”（独立行政法人医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト）分担分（2005 年～2010 年）で得られた成果について、発展的に継続。

4. 共同研究体、Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study Investigators を UMIN-CTR に登録し遺伝子コホート研究を展開。

5. “脂肪心筋”の発生機序と心機能に関する研究：

肥満・糖尿病患者で認められる“脂肪心筋”が心機能を障害するメカニズムは解明されていない。我々は脂肪滴関連蛋白 Perilipin 2 に着目し、Perilipin 2 が脂肪心筋の発生と心機能に与える影響を transgenic/knockout マウスを作製して解析している。近年は Perilipin 2 過剰発現による脂肪心筋が不整脈を誘発することを発見し、そのメカニズムを探索している。本研究により生活習慣病患者に合併する“脂肪心筋”の病態生理を解明し、その予防法、治療法を確立することが目標である。

6. 心筋のエネルギー代謝に関する研究：

心筋はグルコースと脂肪酸を主なエネルギー源として利用するが、糖尿病、肥満症や飢餓状態では脂肪酸を主なエネルギー源とする。しかし過度の脂肪酸利用はミトコンドリアなどに負荷を与えるため、心筋細胞は遺伝子レベルで様々な防御機構を働かせている。我々はマイクロアレイの解析から脂肪酸利用に反応して誘導される酵素群を抽出し、それらの機能を Tg/KO マウスモデルを用いて解析している。

7. 糖尿病管理に関する臨床研究：

糖尿病血管障害の抑制には食後高血糖管理が重要であるが、入院インスリン治療者の約 80%では食後 1 時間血糖値は十分には管理されていない。食後血糖値の完全なる正常化を目指して、インスリン、インクレチン製剤や各種内服薬により食後早期の血糖上昇を抑制する方法を検討している。また、続血糖モニタリングシステム(CGMS)を応用した新たな糖尿病管理法を探索している。

● キーワード

糖尿病学, 高血圧学, 内分泌代謝学, 動脈硬化学, メタボリックシンドローム, レニン-アンジオテンシン系, レニン遺伝子, 遺伝子多型, 脂肪心筋 (症)、糖尿病性心筋症, 遺伝子多型脂肪心筋 (症)、糖尿病性心筋症、エネルギー代謝

● 業績年の進捗状況

これまで網羅的トランスクリプトーム解析により、糖尿病/高血圧を識別しうる比較的明確なクラ

スター形成を得たのち、Gene Ontology、Pathway 解析から angiotensin II 消去系全般の発現低下が示唆され、real-time PCR 法での解析を完了し、AT4 について可溶部分に対し抗体を設定し測定系を構築、測定条件の適正化も完了し実測し一定の成績を得てきたが、この後継研究として新規の文部科学省科学研究費補助金を得て、この高感度測定系のキットの作成を 2014 年度にほぼ完了し、現在測定開始予定である。

これまでヒトレニン遺伝子転写調節機序解析による知見など (Kidney Int 1996, J Cell Biochem 2004, J Cell Biochem 2007) に基づき、Ca 拮抗薬におけるレニン-アンジオテンシン系活性化の程度を検討し (J Hypertens 2010)、Ca チャネル遮断薬の特性を比較評価し抗アルブミン尿効果の差異を解明 (Int J Cardiol 2013)。さらに継続して地域協力病院との大規模コホート (G-DOC Study Investigators) を用い、遺伝子転写レベルの研究からのトランスレーショナルスタディとしての臨床研究を展開し、レニン遺伝子型についてゲノム薬理学的な成績を報告したが (Diabetes Care 2009, Curr Hypertens Rep 2011)、さらに血漿濃度との関係を明らかとした (Medicine 2014)。また、グループの市川らは糖尿病有病率と関連する遺伝子として、レニン-アンジオテンシン系のうち、アルドステロン合成酵素の意義を明らかとした (Acta Diabetologica 2014)。

脂肪心筋が不整脈を誘発する病態生理を解明するため、心筋特異的 Perilipin 2 過剰発現マウスを用いて解析を行った。心筋 Perilipin 2 の過剰発現はギャップジャンクション蛋白コネキシンの細胞内局在性を変化させて不整脈を誘発する可能性を発見し、日本糖尿病学会および日本動脈硬化学会にて報告した (佐藤)

● 特色等

1. 国外機関の共同研究 RA 系遺伝子のクローニングや ACE 遺伝子多型の発見と応用など、国際的な第一人者であるフランス国立医学研究所 College de France の Corvol 教授を中心としたグループ (仏 パスツール研究所、米 Emory University を含む) との共同研究を継続。南アフリカ共和国クワズルナタール大学との国際交流共同研究を展開。
2. 関連病院との共同研究 全国 10 都府県、40 数施設にわたる共同研究, Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study Investigators として UMIN に登録して活動。
3. 学会診療ガイドライン作成への関与。
4. 各種学会賞等の受賞 2009 年～2014 年、6 年連続で欧州高血圧学会 Grant を受賞。

● 本学の理念との関係

福井大学の重点領域の 1 つである「生体における分化・増殖などの情報伝達・制御機構、高次生体システムの発達・構築とその維持機構、及びそれらの異常の解明を通じ、生まれ、健やかに育ち、老いる過程に関する世界的に優れた研究を行う」に該当。

3. 研究実績

区 分		編 数		インパクトファクター (うち原著のみ)	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		21	1	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	27	6	96.040 (96.040)	16.111 (16.111)
	コレスポンスディングオーサー	26	5	91.280 (91.280)	11.244 (11.244)
	その他	42	5	91.795 (91.795)	11.953 (11.953)
	合計	70	11	190.634 (190.634)	28.064 (28.064)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1430001

+**K. Hattori**, T. Konoshita, +S. Wakahara, +I. Miyamori: Pedal Edema in a Female of RS3PE. J Postgrad Med, 60, 211, 2014.04 (症例報告)

1430002

Y. Umeda, +Y. Demura, M. Anzai, +H. Matsuoka, +T. Araya, +M. Nishitsuji, +K. Nishi, *T. Tsuchida, +Y. Sumida, M. Morikawa, S. Ameshima, *T. Ishizaki, +K. Kasahara, T. Ishizuka: 18F-FDG uptake predicts diagnostic yield of transbronchial biopsy in peripheral lung cancer. Lung Cancer, 85, 47-52, 2014.07, #3. 737, DOI; 10.1016/j.lungcan.2014.03.025.

1430003

T. Ishizuka, +T. Hisada, +Y. Kamide, +H. Aoki, +K. Seki, C. Honjo, H. Sakai, M. Kadowaki, Y. Umeda, M. Morikawa, M. Anzai, S. Ameshima, *T. Ishizaki, +K. Dobashi, +M. Yamada, +M. Kusano: The effects of concomitant GERD, dyspepsia, and rhinosinusitis on asthma symptoms and FeNO in asthmatic patients taking controller medications. Journal of Asthma Allergy, 7, 131-139, 2014.07

1430004

T. Ishizuka, +T. Hisada, +M. Hatori, +A. Koike, +K. Hanabuchi, +S. Matsuzaki, +Y. Kamide, +M. Utsugi, +H. Aoki, +R. Yoshino, +N. Yanagitani, +Y. Koga, +A. Ono, +K. Kaira, +N. Sunaga, +K. Dobashi, +T. Tuburai, +K. Akiyama, +M. Yamada, +K. Suzuki, +M. Mori: Safety and efficacy of high-dose leukocytapheresis in patients with refractory asthma. Inflammation Research, 63 (9), 789-796, 2014.07, #2. 143

1430005

+**M. Kotake**, +K. Sato, +C. Mogi, +M. Tobo, +H. Aki, T. Ishizuka, +N. Sunaga, +H. Imai, +K. Kaira, +T. Hisada, +M. Yamada, +F. Okajima: Acidic pH increases cGMP accumulation through the OGR1/phospholipase C/Ca²⁺/neuronal NOS pathway in N1E-115 neuronal cells. Cell Signal, 26, 2326-2332, 2014.07, #4. 471

1430006

M. Ichikawa, T. Konoshita, T. Nakaya, K. Yamamoto, M. Yamada, S. Sato, M. Imagawa, Y. Makino, M. Fujii, Y. Zenimaru, Arakawa K, J. Suzuki, T. Ishizuka, +H. Nakamura: Genetic variant of the renin-angiotensin system and prevalence of type 2 diabetes mellitus: a modest but significant effect of aldosterone synthase. Acta Diabetol, 51 (4), 595-599, 2014.08, #3. 679

1430007

***Y. Kimura**, *K. Chihara, C. Honjoh, *K. Takeuchi, *S. Yamauchi, *H. Yoshiki, *S. Fujieda, ***K. Sada**: Dectin-1-mediated Signaling Leads to Characteristic Gene Expressions and Cytokine Secretion via Spleen Tyrosine Kinase (Syk) in Rat Mast Cells. J. Biol. Chem., 289 (45), 31565-31575, 2014.09, #4. 600

1430008

Arakawa K, Konoshita T, Makino Y, Ishizuka T: Blue toe in a male with cholesterol embolisation syndrome. Clin Med, 14 (6), 688-689, 2014.12, #1. 685

1430009

Konoshita T, Nakaya T, Sakai A, Yamada M, Ichikawa M, Sato S, Imagawa M, Fujii M, Yamamoto K, +Makino Y, Arakawa K, Suzuki J, Ishizuka T, +Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study Investigators: Determinants of plasma renin activity: role of a human renin gene variant as a genetic factor. *Medicine (Baltimore)*, 93 (29), e354, 2014.12, #4.867, DOI: 10.1097/MD.0000000000000354

1430010

*T. Ishizaki, +S. Mizuno, +A. Sakai, +S. Matsukawa, +B. Kojonazarov, +B. Zamirbek, Y. Umeda, M. Morikawa, M. Anzai, T. Ishizuka: Blunted activation of Rho-kinase in yak pulmonary circulation. *BioMed Research International*, 720250, 5, 2015.01, DOI: 10

(2) 和文：著書等 (proceedings を除く)

a. 著書 (分担執筆)

1430011

此下 忠志: 日本腎臓学会編(編): **エビデンスに基づく多発性嚢胞腎診療ガイドライン**, 東京医学者, 2014.10

1430012

此下 忠志: 診療の極意「その一言!」 「ご家族のためにも、健康で長生きしましょう」, 35, ライフサイエンス出版, 14, 2014.12

1430013

石塚 全: グッドパスチャー症候群: 福井 次矢、高木 誠(編): **今日の治療指針**, 2015, 医学書院, 789-790, 2015.01

1430014

鈴木 仁弥: 第 16 節 H S L: 脂質代謝異常と関連疾患-疾患モデルの作製と利用, エル・アイ・シー, 279-289, 2015.01

1430015

佐藤 さつき, 鈴木 仁弥: 糖尿病性心筋症: **診断と治療**, 103, 医学書出版, 341-346, 2015.03

(3) 和文：論文等

a. 総説

1430016

本定 千知, *千原 一泰, +木村 幸弘, *竹内 健司, *定 清直: 最新関節リウマチ学-寛解・治癒を目指した研究と最新治療-VIII. 関節リウマチの治療 最新開発治療薬 Syk 阻害薬. *日本臨牀*, 72 (3), 521-524, 2014.04

1430017

梅田 幸寛: NSCLC における mab-PC 進行非小細胞肺癌におけるアルブミン結合型パクリタキセル毎週投薬とカルボプラチン併用療法の有用性と安全性. *日本胸部臨牀*, 73 (4), 480, 2014.05

1430018

*千原 一泰, 本定 千知, *吉木 はつみ, *山内 翔太, *竹内 健司, *定 清直: Syk. 分子リウマチ治療, 7 (4), 6-9, 2014.10

1430019

石塚 全：炎症の遷延化・沈静化に関わる因子 炎症抑制免疫機構とは. 喘息, 27 (2) , 180-186, 2014. 10

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演 (口演)

1430020

T.Konoshita: Determinants of plasma renin activity - role of a human renin gene variant as a genetic factor, 24th European Meeting on Hypertension, 2014.06, Athens

b. 一般講演 (ポスター)

1430021

Y.Makino, T.Konoshita, M.Fujii, Y.Zenimaru, T.Ishizuka: Genetic variation in the renin-angiotensin-aldosterone system and renal survival in Japanese patients with diabetic nephropathy, 2014 Annual Scientific Meeting of American Society of Hypertension, 2014.05, New York

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

1430022

森川 美羽：若手医師から呼吸器学会への要望～魅力ある科で共に働ける仲間を増やすために～, 第54回日本呼吸器学会学術講演会, 2014.04

b. 一般講演 (口演)

1430023

山本 勝司, 中屋 隆裕, 山田 実夏, 市川 麻衣, 佐藤 さつき, 今川 美智子, 牧野 耕和, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 此下 忠志: 高齢 2 型糖尿病症例の特徴 特に循環レニン-アンジオテンシン系について, 第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2014.05, 大阪

1430024

市川 麻衣, 山本 勝司, 中屋 隆裕, 山田 実夏, 佐藤 さつき, 今川 美智子, 牧野 耕和, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 此下 忠志, 石塚 全: レニン-アンジオテンシン系遺伝子多型と 2 型糖尿病発祥の関連-アルドステロン合成酵素遺伝子型の意義-, 第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2014.05, 大阪

1430025

佐藤 さつき, 鈴木 仁弥, +弘瀬 雅教, 中屋 隆裕, 山本 勝司, 山田 実夏, 市川 麻衣, 今川 美智子, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, +生山 祥一郎, +高橋 貞夫, 此下 忠志, 石塚 全: ” 脂肪心筋” が不整脈を誘発するメカニズムの検討, 第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2014.05, 大阪

1430026

+古賀 康彦, +土橋 邦生, +矢富 正清, +上出 庸介, +関 香織, +小野 昭浩, +久田 剛志, 石塚 全, +山田 正信: 間質性肺炎症例におけるパラフィン切片を用いた In-air micro PIXE 解析によるはいない微粒子の元素解析, 第 45 回日本職業・環境アレルギー学会学術大会, 2014.06

1430027

*馬場 夏希, *高嶋 渉, *徳力 篤, *長谷川 稔, 飴嶋 慎吾, *鈴木 弟, *藤枝 重治, *西川 雄大, *高橋 直生, *岩野 正之: TNF 阻害薬を使用中に発症したバザン硬結性紅斑の 1 例, 第 65 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2014. 10, 抄録集, 191

1430028

酒井 啓行, 安齋 正樹, 梅田 幸寛, 森川 美羽, 門脇 麻衣子, 本定 千知, 飴嶋 慎吾, *石崎 武志, 石塚 全: 活動性肺結核の診断に難渋した手指の結核性腱鞘滑膜炎の 1 例, 第 90 回日本結核病学会総会, 2015. 03, 長崎

c. 一般講演 (ポスター)

1430029

酒井 啓行, 森川 美羽, 本定 千知, 門脇 麻衣子, 安齋 正樹, 梅田 幸寛, 飴嶋 慎吾, 石塚 全, *石崎 武志: 最重症持続型気管支喘息に対する IgE 抗の使用成績, 第 54 回日本呼吸器学会学術講演会, 2014. 04

1430030

梅田 幸寛, 本定 千知, 酒井 啓行, 門脇 麻衣子, 安齋 正樹, 森川 美羽, 飴嶋 慎吾, *石崎 武志, *岡沢 秀彦, 石塚 全: 進行期非小細胞肺癌の生命予後予測における 18F-FDG および 18F-FLT PET の有用性, 第 54 回日本呼吸器学会学術講演会, 2014. 04, 大阪

1430031

森川 美羽: 喘息診療における地域連携・病薬連携～福井いきいきプロジェクトの試み～, 第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2014. 05

1430032

山田 実夏, 今川 美智子, 鈴木 仁弥, 坂井 亜衣, 中屋 隆裕, 山本 勝司, 市川 麻衣, 佐藤 さつき, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 此下 忠志: 2 型糖尿病患者に対する超速効型インスリングルリジンと超速効型インスリンリスプロの食後早期血糖値の比較検討, 第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2014. 05, 大阪

1430033

佐藤 さつき, 鈴木 仁弥, +弘瀬 雅教, 中屋 隆裕, 山本 勝司, 山田 実夏, 市川 麻衣, 今川 美智子, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, +生山 祥一郎, +高橋 貞夫, 此下 忠志, 石塚 全: ” 脂肪心筋 ” が心房細動を誘発するメカニズムの検討, 第 46 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2014. 07, 東京

1430034

坂井 亜衣, 中屋 隆裕, 山本 勝司, 山田 実夏, 市川 麻衣, 今川 美智子, 牧野 耕和, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 石塚 全, +ジャギデジャ ムードレイ, +加藤 規弘, 此下 忠志: ENPEP (angiotensinase A) 遺伝子多型と高血圧症の相関解析, 第 37 回日本高血圧学会総会, 2014. 10, 横浜

1430035

中屋 隆裕, 坂井 亜衣, 山本 勝司, 山田 実夏, 市川 麻衣, 佐藤 さつき, 今川 美智子, 牧野 耕和, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 石塚 全, +ジャギデジャ ムードレイ, 此下 忠志: アルドステロン合成酵素遺伝子多型と慢性腎臓病の相関解析, 第 37 回日本高血圧学会総会, 2014. 10, 横浜

1430036

市川 麻衣, 中屋 隆裕, 坂井 亜衣, 山本 勝司, 山田 実夏, 佐藤 さつき, 今川 美智子, 牧野 耕和, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 石塚 全, +ジャギデジャ ムードレイ, 此下 忠志: 高齢2型糖尿病における血圧と循環レニン-アンジオテンシン系の特性, 第37回日本高血圧学会総会, 2014.10, 横浜

1430037

梅田 幸寛, 園田 智明, 山口 牧子, 本定 千知, 酒井 啓行, 森川 美羽, 門脇 麻衣子, 安齋 正樹, 飴嶋 慎吾, *石崎 武志, +辻川 哲也, *岡沢 秀彦, 石塚 全: 非小細胞肺癌の予後予測における volume-based analysis による FLT 及び FDG-PET 画像の有用性, 第55回日本肺癌学会学術集会, 2014.11, 京都

1430038

藤井 美紀, 坂井 亜衣, 中屋 隆裕, 山本 勝司, 山田 実夏, 市川 麻衣, 佐藤 さつき, 今川 美智子, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 此下 忠志, 石塚 全: 右下肢麻痺が遷延したバセドウ病若年男性の1例, 第24回臨床内分泌代謝 Update, 2014.11, さいたま

1430039

森川 美羽: 突発性樹枝状肺骨形成症における呼吸機能と画像所見の病理学的関連, 第7回呼吸器機能イメージング研究会学術集会, 2015.02

(3) 国内学会 (地域レベル)

a. 一般講演 (口演)

1430040

園田 智明, 酒井 啓行, 安齋 正樹, 山口 牧子, 本定 千知, 門脇 麻衣子, 森川 美羽, 梅田 幸寛, 飴嶋 慎吾, *石崎 武志, 石塚 全, +村岡 紀昭, +清水 一浩, +杉山 幸子: 喀血コントロールに難渋した肺膿瘍の一例, 第72回呼吸器合同北陸地方会, 2014.05

1430041

酒井 啓行, 本定 千知, 門脇 麻衣子, 安齋 正樹, 森川 美羽, 梅田 幸寛, 飴嶋 慎吾, *石崎 武志, 石塚 全, +法木 左近: バゼックス症候群で発見された肺腺癌の一例, 第69回日本肺癌学会北陸支部会, 2014.07, 金沢市

1430042

山本 勝司, 藤井 美紀, 山田 実夏, 市川 麻衣, 佐藤 さつき, 今川 美智子, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 石塚 全, 此下 忠志: バセドウ病患者に両下肢運動麻痺を認めるも甲状腺機能改善とともに麻痺も消失した一例, 第224回日本内科学会北陸地方会, 2014.09, 射水市

1430043

山本 勝司, 鈴木 仁弥, 坂井 亜衣, 中屋 隆裕, 山田 実夏, 市川 麻衣, 佐藤 さつき, 今川 美智子, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 此下 忠志: 臍体尾部切除後糖尿病に対しテネリグリブチンとミグリトールの効果を CGM にて検討した一例, 第88回日本糖尿病学会中部支部学術集会, 2014.10, 東京

1430044

今川 美智子, 坂井 亜衣, 中屋 隆裕, 山本 勝司, 山田 実夏, 市川 麻衣, 佐藤 さつき, 藤井 美紀, 銭丸 康夫, 鈴木 仁弥, 此下 忠志, 石塚 全, +小上 瑛也, *今村 好章: 2年に渡る経過観察中に, 123I-MIBG シンチで陰性が持続し, FDG-PET で陽転化した右副腎原発性褐色細胞腫の一例, 第14回日本内分泌学会北陸支部学術集会, 2014.11, 金沢市

1430045

梅田 幸寛: 研修医のための Respiratory reversed, 第 73 回呼吸器合同北陸地方会, 2014. 11

1430046

松本 日和, 安齋 正樹, 園田 智明, 山口 牧子, 酒井 啓行, 本定 千知, 門脇 麻衣子, 森川 美羽, 梅田 幸寛, 石塚 全: 治療に難渋し AIDS に合併したユーモシスチス肺炎の 1 例, 第 73 回呼吸器合同北陸地方会, 2014. 11

1430047

山口 牧子, 石塚 全, 飴嶋 慎吾, 門脇 麻衣子, 安齋 正樹, 梅田 幸寛, 森川 美羽, 本定 千知, 園田 智明, 酒井 啓行: EGFR 遺伝子変異養成の肺腺癌に対して、1st line Afatinib を用いて ALP flare 現象を呈し、著効した 1 例, 第 225 回日本内科学会北陸地方会, 2015. 03, 金沢市

b. 一般講演 (ポスター)

1430048

*近藤 美穂子, *浅川 久美子, *立平 宏美, *北山 富士子, 鈴木 仁弥, 此下 忠志: 当院での糖尿病透析予防指導の取り組み～よりよい糖尿病透析予防に向けて～, 第 32 回福井県糖尿病懇話会, 2014. 06, 福井市

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1430049

此下 忠志: CKD 合併高血圧における Ca 拮抗薬の選び方, 第 26 回富山県高血圧研究会, 2014. 05, 富山市

1430050

此下 忠志: 最新の糖尿病診療における高用量メトホルミンの有用性, APO フォーラム若狭勉強会, 2014. 05, 小浜市

1430051

飴嶋 慎吾: COPD の診断と治療, 循環器科医のための勉強会, 2014. 06, 福井市

1430052

此下 忠志: 腎疾患における降圧療法の最新のトレンド- ARB に追加すべき CCB の考え方-, 伊勢腎勉強会, 2014. 06, 伊勢

1430053

此下 忠志: 糖尿病治療の新展開～最近のトレンドと SGLT2 阻害薬の使い方～, 福井総合 HC 地域連携勉強会～SGLT2 阻害剤の適正使用を考える～, 2014. 06, 福井市

1430054

此下 忠志: 臓器保護を目指した Ca 拮抗薬の選び方-ARB 組み合わせるべき CCB は何か-, 2014. 06, 八戸

1430055

此下 忠志: 糖尿病における高血圧治療の最新のトレンド-ARB に追加すべきシルニジピンの意義-, 郡山N型カルシウムチャンネル研究会, 2014. 07, 郡山市

1430056

此下 忠志：レニン-アンジオテンシン系と臓器障害 最近の話題，第 27 回東北副腎研究会，2014.08，仙台

1430057

此下 忠志：臓器保護を目指した降圧療法-N型チャンネルからみたARBと併用すべきCCB-, N型チャンネル研究会，2014.08，横浜市

1430058

此下 忠志：臓器保護のためのCa拮抗薬の選び方-ARBと組み合わせるべきCCBの考え方-, 高血圧講演会，2014.10，長浜

1430059

此下 忠志：糖尿病診療 最新のトレンド，第172回奥越学術講演会，2014.10，勝山市

1430060

飴嶋 慎吾：COPD診療の最新の知見について，COPD診療を考える会，2014.11，福井市

1430061

此下 忠志：腎保護を目指した降圧療法-レニン-アンジオテンシン系からみたARBと併用すべきCCB-, 桑名地区腎勉強会，2014.11，桑名市

1430062

此下 忠志：CKD 合併高血圧におけるCa拮抗薬の選び方，CKD Total Management Conference，2014.11，京都

1430063

此下 忠志：糖尿病とレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系，第5回富山内分泌代謝・腎研究会，2015.02，富山市

b. 一般講演（口演）

1430064

中屋 隆裕，山田 実夏，藤井 美紀，鈴木 仁弥，坂井 亜衣，市川 麻衣，山本 勝司，今川 美智子，銭丸 康夫，此下 忠志，石塚 全：ショック状態で搬送された2型糖尿病の1例，第510回福井県内科臨床懇話会，2014.04，福井市

1430065

山本 勝司，坂井 亜衣，中屋 隆裕，山田 実夏，市川 麻衣，今川 美智子，佐藤 さつき，藤井 美紀，銭丸 康夫，鈴木 仁弥，此下 忠志：ABPMを用いた代謝性疾患合併高血圧でのアジルサルタンの使用経験，高血圧治療ガイドライン2014（JSH2014）発表記念講演会，2014.04，福井市

1430066

酒井 啓行：手指関節の滑膜炎を伴った肺疾患の一例，第32回若狭湾呼吸器シンポジウム，2014.05

1430067

梅田 幸寛：PETによる肺癌の予後評価～FDGとFLT-PETの使用経験から～，第32回若狭湾呼吸器シンポジウム，2014.05

1430068

門脇 麻衣子：プロトン刺激によりヒト気管支平滑筋細胞から誘導される因子の検討，第 51 回北陸呼吸器シンポジウム，2014.09

1430069

T.Konoshita: Pharmacogenetics of the renin angiotensin system, International Expert Meeting, 2014.09

1430070

安齋 正樹，森川 美羽，園田 智明，山口 牧子，酒井 啓行，本定 千知，門脇 麻衣子，梅田 幸寛，飴嶋 慎吾，*石崎 武志，石塚 全：破損金属ステント内の気道異物除去の一例，第 13 回北陸肺癌談話会，2014.10

1430071

園田 智明，酒井 啓行，安齋 正樹，山口 牧子，本定 千知，門脇 麻衣子，森川 美羽，梅田 幸寛，飴嶋 慎吾，*石崎 武志，石塚 全：吐血と心窩部痛を発症し、胸部画像で浸潤影を認めた一例，第 515 回福井県内科系臨床懇話会，2014.10

1430072

園田 智明：当科におけるランマーク使用経験について，肺癌骨転移治療セミナー，2014.10

1430073

山口 牧子：ACOS における診断困難例と治療難渋例，SEM Scientific Exchange Meeting in Kanazawa, 2014.10

1430074

市川 麻衣，坂井 亜衣，中屋 隆裕，山田 実夏，山本 勝司，佐藤 さつき，今川 美智子，牧野 耕和，藤井 美紀，銭丸 康夫，鈴木 仁弥，此下 忠志：レニン-アンジオテンシン系遺伝子と 2 型糖尿病の関連解析，第 89 回北陸糖尿病集談会，2014.11，福井市

1430075

*馬場 夏希，*高嶋 涉，*徳力 篤，*長谷川 稔，飴嶋 慎吾，*鈴木 弟，*藤枝 重治，*西川 雄大，*高橋 直生，*岩野 正之：TNF 阻害薬を使用中に発症したバザン硬結性紅斑の 1 例，第 119 回福井県皮膚科医会例会，2014.11，福井市

1430076

山本 勝司，坂井 亜衣，中屋 隆裕，山田 実夏，市川 麻衣，今川 美智子，佐藤 さつき，藤井 美紀，銭丸 康夫，鈴木 仁弥，此下 忠志，石塚 全：当科におけるサキサグリプチンの使用経験，糖尿病学術講演会，2014.12

1430077

中屋 隆裕，坂井 亜衣，山田 実夏，市川 麻衣，山本 勝司，佐藤 さつき，今川 美智子，藤井 美紀，牧野 耕和，銭丸 康夫，鈴木 仁弥，石塚 全，此下 忠志：レニン-アンジオテンシン系遺伝子多型と慢性腎臓病の相関解析～アルドステロン合成酵素遺伝子型の意義～，第 6 回 CKD 医療連携の会，2014.12，福井市

1430078

梅田 幸寛：FDG-PET を用いた遅延像のびまん性肺疾患診断，第 19 回福井大学高エネルギー医学研究センター研究発表会，2015.02

1430079

梅田 幸寛: 非小細胞癌における 18F-FLT および 18F-FDG 画像の有用性に関する臨床研究, 第 19 回 福井大学高エネルギー医学研究センター研究発表, 2015. 02

1430080

此下 忠志: 血清尿酸値と血漿レニン活性について, 第 25 回北陸尿酸談話会, 2015. 02, 金沢市

1430081

梅田 幸寛: FDG 集積は末梢型肺癌の VBN 及び EBUS-GS を併用した気管支鏡診断率に関連する, 第 2 回福井呼吸器・内分泌代謝学術講演会, 2015. 03, 福井市

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(B) (一般)	石綿肺早期発見 と病態解明をめ ざすイオンビー ムを応用した新 手法の開発	+土橋 邦 生	石塚 全	2014	260 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	"脂肪心筋"が不 整脈を起こすメ カニズムの研究	鈴木 仁 弥	高橋 貞夫	2014	1,950 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	アンジオテンシ ン IV 受容体可溶 成分の高感度測 定系構築と臨床 的有用性の評価	此下 忠 志		2014	1,950 千円
文部科学省科学 研究費補助金	若手研究(B)	間質性肺炎の治 療効果早期予測 における 2 時相 18F-FDG PET 画 像の有用性	梅田 幸 寛		2014	1,170 千円

(B) 奨学寄附金

受入件数	36 件
受入金額	25,600,000 円

5. その他の研究関連活動

(A) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本内科学会	評議員	石塚 全
日本職業・環境アレルギー学会	評議員	石塚 全

日本アレルギー学会	代議員	石塚 全
日本呼吸器学会	代議員	石塚 全
国際喘息学会日本北アジア部会	幹事	石塚 全
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	北陸支部長	石塚 全
日本腎臓学会	評議員	此下 忠志
日本内分泌学会	評議員	此下 忠志
日本心血管内分泌代謝学会	評議員	此下 忠志
日本高血圧学会	評議員	此下 忠志
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	評議員	飴嶋 慎吾
日本呼吸器学会	代議員	飴嶋 慎吾
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	代議員	飴嶋 慎吾
日本呼吸器学会	用語委員	飴嶋 慎吾

(B) 座長

国内学会（全国レベル）	学会名	氏名
シンポジウム等	第 54 回日本呼吸器学会学術講演会	石塚 全
シンポジウム等	第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会	石塚 全
シンポジウム等	第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会	石塚 全
シンポジウム等	第 90 回日本結核病学会総会	石塚 全

(C) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員の別	氏名
日本腎臓学会英文誌	編集委員	此下 忠志

(D) その他

<p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 此下 忠志：平成 25 年度福井大学「学生による授業評価アンケート」評価上位教員，2014. 04 ● 此下 忠志：Congeress grant award, European Society of Hypertension, 2014. 06 <p><報道></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森川 美羽：呼吸いきいき講座，おじゃまッテレ，2014. 06. 17 ● 飴嶋 慎吾：“元気で医こう”「COPD」 まず禁煙で進行抑制，県民福井，2014. 06. 22 ● 此下 忠志：“おかえりホームドクター”，腎実質性高血圧，福井テレビ，2014. 08. 28 ● 此下 忠志：“元気で医こう”糖尿病性腎症，県民福井，2014. 11. 02
--

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
地方自治体	福井県健康福祉部	委員	鈴木 仁弥	2013.04～ 2014.04
地方自治体	福井県健康福祉部，特定疾患等認定審査部会	委員	梅田 幸寛	2013.04～ 2015.04
地方自治体	福井県，福井県感染症診査協議会	委員	石塚 全	2013.04～
地方自治体	福井県健康福祉部	委員	飴嶋 慎吾	2013.07.25～ 2015.07.24
地方自治体	福井県健康管理協会，福井県がん検診精度管理委員会 肺がん専門部会	委員	飴嶋 慎吾	2013.08～
地方自治体	福井県健康福祉部，特定疾患等認定審査部会	委員	藤井 美紀	2014.04～ 2015.04
地方自治体	労働基準監督署	労災協力医	飴嶋 慎吾	2014.05～
地方自治体	福井労働局，じん肺審査会	じん肺審査医	飴嶋 慎吾	2014.08～
その他	北陸呼吸器画像セミナー，北陸呼吸器画像セミナー	事務局	飴嶋 慎吾	2003～
その他	独立行政法人医薬品医療機器総合機構	専門委員	石塚 全	2013.04.01～ 2015.03.31
その他	社会保険診療報酬支払基金福井支部	審査委員	石塚 全	2013.06.01～ 2015.05.31
その他	中央肺移植検討委員会	委員	石塚 全	2014.04～
	福井県健康福祉部	専門部会医員	鈴木 仁弥	2013.04.01～ 2018.03.31

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
公開講座	肺癌の治療と緩和ケア	福井大学がん患者会，専門職業人・一般	森川 美羽
公開講座	第144回がんプロ・キャンサーボード症例検討会，癌性髄膜炎のコントロールに難渋し、HER-2 蛋白発現を認めた若年発症肺腺癌の一例	専門職業人	園田 智明，梅田 幸寛，山口 牧子，本定千知，酒井 啓行，門脇 麻衣子，安齋 正樹，森川 美羽，飴嶋 慎吾，*石崎 武志，石塚 全
学校医等	学校医	大学生	森川 美羽
高大連携等	大学模擬授業体験講座，チーム医療	仁愛女子高等学校，高校生，50人	飴嶋 慎吾
講演・セミナー等	福井 COPD 懇話会，COPD 診断と治療	グラクソスミスクライン，専門職業人，8人	飴嶋 慎吾
講演・セミナー等	最近の気管支喘息診療	内科臨床懇話会，専門職業人	森川 美羽
講演・セミナー等	喘息診療における福井県内の地域連携の展望	坂井市医師会三国ブロック，専門職業人	森川 美羽
講演・セミナー等	呼吸困難の緩和ケアについて	国立病院機構福井病院，専門職業人	森川 美羽
講演・セミナー等	喘息診療について	ノバルティスファーマ，専門職業人	森川 美羽

講演・セミナー等	臨床講座，糖尿病診療の新しいトレンド	ノボノルディスクファーマ株式会社，専門職業人，50人	此下 忠志
講演・セミナー等	学術講演会，糖尿病疾患についての最近の知見-SGLT2 阻害薬を中心に-	専門職業人，20人	此下 忠志
講演・セミナー等	第16回北陸喘息治療研究会，成人喘息患者の自覚症状と気道炎症	専門職業人	石塚 全
講演・セミナー等	第11回熊本喘息・咳嗽研究会，成人喘息患者の自覚症状と気道炎症の関係	帝人ファーマ株式会社，一般，80人	石塚 全
講演・セミナー等	学術講演会，腎疾患における降圧療法の最新トレンド-ARB に追加すべき CCB の考え方	持田製薬株式会社，専門職業人，15人	此下 忠志
講演・セミナー等	Symbicort Symposium 2014，気管支喘息患者の自覚症状と気道炎症の関係～SMART 療法の有用性を含めて～	アステラス製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社，専門職業人，50人	石塚 全
講演・セミナー等	学術講演会，内分泌代謝疾患に関する最新の医学的知見を現場の医師に広く普及	専門職業人	此下 忠志
講演・セミナー等	循環器科医グループ勉強会，COPDの診断と治療	ノバルティスファーマ，専門職業人，10人	館嶋 慎吾
講演・セミナー等	2型糖尿病の新しい治療戦略～SGLT2 阻害薬の適正使用について～，2型糖尿病の新しい治療戦略～SGLT2 阻害薬の適正使用について～	専門職業人	此下 忠志
講演・セミナー等	社内勉強会，糖尿病診療 最新のトレンド	田辺三菱製薬株式会社，専門職業人	此下 忠志
講演・セミナー等	第16回気道・肺胞分泌研究会，成人喘息患者の自覚症状と気道炎症の関係	帝人ファーマ株式会社，専門職業人，30人	石塚 全
講演・セミナー等	社内研修，レニン-アンジオテンシン系と生活習慣病	第一三共株式会社，専門職業人，15人	此下 忠志
講演・セミナー等	社内勉強会，糖尿病診療 血糖とRAS	専門職業人	此下 忠志
講演・セミナー等	Kyorin 座話会，喘息治療の実態と今後の展望-実臨床上のベストアンサーより-	専門職業人	森川 美羽
講演・セミナー等	第11回長崎喘息研究会，成人喘息患者の自覚症状と気道炎症の関係	専門職業人，50人	石塚 全
講演・セミナー等	International Expert Meeting，高血圧治療の最新の話	専門職業人，30人	此下 忠志
講演・セミナー等	第8回福井喘息ネットワーク講演会，喘息診療における地域連携・病薬連携	専門職業人，20人	森川 美羽
講演・セミナー等	第51回北陸呼吸器シンポジウム FITs，プロトン刺激によりヒト気管支平滑筋細胞から誘導される因子の検討	専門職業人，50人	門脇 麻衣子
講演・セミナー等	2014 鯖江喘息フォーラム，気管支喘息の診断と治療 UP TO DATE	専門職業人，15人	森川 美羽
講演・セミナー等	第27回湘南呼吸器研究会学術講演会，成人喘息患者の自覚症状と気道炎症の関係	専門職業人，50人	石塚 全
講演・セミナー等	SEM in Okayama，最新の医学的知見の普及	専門職業人，30人	石塚 全
講演・セミナー等	吸入指導研究会，呼吸器疾患の基礎と標準治療	専門職業人，30人	森川 美羽
講演・セミナー等	Asthma Experts Summit，呼吸器領域における医学専門知識及び関連情報に基づく助言及び情報交換	専門職業人，50人	石塚 全
講演・セミナー等	北陸地区ジオトリフ発売記念講演会，破損金属ステント内の気道異物除去の一例	専門職業人	安齋 正樹

講演・セミナー等	日本医師会生涯教育「かかりつけ医におけるCOPDの診断と治療」, 「COPDの診断」	日本医師会、福井県医師会、専門職業人, 70人	飴嶋 慎吾
講演・セミナー等	脂質異常症マネジメントセミナーin 福井, 慢性炎症としての動脈硬化症と脂質異常症	専門職業人, 50人	此下 忠志
講演・セミナー等	Scientific Exchange Meeting in Kanazawa, ACOS における診断困難例と治療難渋例	専門職業人, 25人	山口 牧子
講演・セミナー等	肺癌骨転移治療セミナー～新時代の骨マネジメントを考える～, 当科におけるランマーク使用経験について	専門職業人, 25人	園田 智明
講演・セミナー等	第47回北陸信越薬剤師学術大会, COPDスクリーニングに関する地域連携について	専門職業人	森川 美羽
講演・セミナー等	COPD診療を考える会(丸岡地区開業医勉強会), COPDの診断と治療	ノバルティスファーマ, 専門職業人, 5人	飴嶋 慎吾
講演・セミナー等	学生・研修医のための呼吸器セミナー, 研修医のための respiratory reversed CPC	北陸呼吸器合同地方会, 大学生・その他, 30人	梅田 幸寛
講演・セミナー等	レルベア発売1周年記念講演会, 最近の喘息治療について	専門職業人, 70人	石塚 全
講演・セミナー等	小矢部市医師会学術講演会, 成人喘息の自覚症状と気道炎症との関係	専門職業人, 50人	石塚 全
講演・セミナー等	Change 喘息 in SAKAI, 喘息とCOPD	専門職業人, 25人	石塚 全
講演・セミナー等	Change 喘息 in SAKAI, 当院で経験したACOSの1例	専門職業人, 25人	酒井 啓行
講演・セミナー等	三国ブロック医師会講演会, 福井県のCOPD疾患についての啓蒙と日常臨床応用	専門職業人	森川 美羽
講演・セミナー等	フルティフォーム発売1周年記念講演会, 成人喘息の自覚症状と気道炎症との関係	専門職業人, 40人	石塚 全
講演・セミナー等	糖尿病学術講演会, 糖尿病学術講演会	協和発酵キリン, 専門職業人, 1人	石塚 全
講演・セミナー等	第6回福井CKD医療連携の会, レニン-アンジオテンシン系遺伝子多型と慢性腎臓病の相関解析	専門職業人, 50人	中屋 隆裕
講演・セミナー等	第33回若狭湾呼吸器シンポジウム, IPFの生命予後予測における二次相 FDG-PET画像の有用性	専門職業人	梅田 幸寛
講演・セミナー等	喘息、COPD患者の診療において知っておきたいこと	専門職業人, 50人	石塚 全
講演・セミナー等	第20回Allergy Forum in Gunma, 成人喘息領域における今後の展望と課題	専門職業人, 60人	石塚 全
講演・セミナー等	喘息・COPD患者の診療において知っておきたいこと	JCHO福井勝山総合病院, 専門職業人, 60人	石塚 全
講演・セミナー等	福井県緩和ケア研修会疼痛事例検討会, がん性疼痛を持つ患者の評価及び治療	専門職業人	森川 美羽
講演・セミナー等	福井糖尿病Web講演会, 糖尿病治療と腎症の管理について	専門職業人, 40人	此下 忠志
講演・セミナー等	第24回白山カンファレンス, びまん性肺疾患に関する難渋症例の検討	専門職業人, 80人	森川 美羽

講演・セミナー等	Diabetes Expert 座話会, 2 型糖尿病におけるインスリン減量、Diabetes Expert 座談会-インスリン減量の意義を考える-	武田薬品工業株式会社, 専門職業人, 6 人	此下 忠志
講演・セミナー等	学術講演会, COPD 診療の最新の知見について	専門職業人	飴嶋 慎吾
講演・セミナー等	社内研修会, 糖尿病疾患に関する研修会	キッセイ薬品工業株式会社, 専門職業人, 4 人	此下 忠志
講演・セミナー等	社内研修, COPD と気管支喘息	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社, 専門職業人, 9 人	森川 美羽
講演・セミナー等	社内研修会, 糖尿病性腎症の最新の話	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社, 専門職業人, 9 人	此下 忠志
講演・セミナー等	第 56 回東海喘息研究会, 気管支喘息治療の現状と今後の課題	専門職業人	石塚 全
講演・セミナー等	第 2 回福井呼吸器・内分泌代謝学術講演会, レニン-アンジオテンシン系遺伝子多型と 2 型糖尿病発症の関連-アルドステロン合成酵素遺伝子型の意義-	専門職業人, 40 人	市川 麻衣
講演・セミナー等	第 2 回福井呼吸器・内分泌代謝学術講演会, 当科における肺癌骨転移症例の治療	専門職業人, 40 人	園田 智明
講演・セミナー等	新潟呼吸器疾患研究会 2015, 気管支喘息治療の現状と今後の課題	専門職業人, 100 人	石塚 全
その他	サノフィ株式会社フォーカスグループインタビュー, 糖尿病疾患における診断方法、治療戦略、患者教育についての市場調査	サノフィ株式会社, 専門職業人, 5 人	此下 忠志
その他	福井県糖尿病治療と合併症を考える会, 福井県糖尿病治療と合併症を考える会	小野薬品工業株式会社, 専門職業人, 80 人	石塚 全

(B) その他業績

<ul style="list-style-type: none"> 此下 忠志: 「高尿酸血症と痛風」 編集アドバイザー, 2009～

(C) 特記事項

<ul style="list-style-type: none"> 梅田 幸寛: 2011 年から毎年、研修医・学生・技師・看護師・理学療法士を対象として、本学特命教授の伊藤春海先生のご講演を呼吸器セミナーとして行っており、その事務局として運営や司会を担当している。 日本呼吸器学会北陸地方会の運営を行った。 胸部の検診業務における、胸部単純写真の読影を年間 400 名程度行い、地域の肺癌早期発見に寄与している。また、検診結果は福井市医師会で行われる肺癌症例検討会で報告しフィードバックしている。 梅田 幸寛: 第 73 回北陸呼吸器合同地方会の事務局長として運営を行った。
